

基本目標Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備**推進項目**

- (1) スポーツ施設の整備等
- (2) スポーツ施設の利用促進
- (3) 安全なスポーツ活動の推進

事業の進捗状況

- ・施設に設置されている屋外照明設備について、老朽化及び経年劣化が著しい施設から年次計画により更新を計画している。これに先立ち、光ヶ丘野球場の照明設備の事前点検を実施したところ落下の可能性がある灯具が複数見つかり、付近への立入禁止の措置をとった。また、テニスコートにおいても一部立入禁止や灯具の撤去を実施している。
- ・令和 4 年度に実施予定の八幡体育館耐震改修工事、国体記念体育館大規模改修工事について、各設計業務委託を発注した。
- ・予算付けされている備品を順次発注、購入し、各競技種目で使用された（光ヶ丘プール屋外 50 m レーンロープ、国体記念体育館体操競技用跳馬・得点表示板等）。
- ・勤労者体育センター、親子スポーツ会館に設置されているバスケットボール用の「吊り下げ式」・「壁掛け式」のゴール設備について、落下防止等の安全点検を実施した。
- ・予算付けされている工事費のうち、武道館防水改修工事と赤松ヒュッテ解体工事は年内に完了する。また、光ヶ丘野球場防球ネット設置工事は隣接する住民の方と設置場所の確認を終え、年度内の工事完了に向けて実施する。

現状評価

- ・体育施設の整備については、「体育施設整備方針」に基づきながら計画的な修繕や施設の長寿命化に向けた耐震改修工事の実施、検討を進めていく必要がある。しかし、上記にあるように屋外照明設備の落下など想定を上回る経年劣化が進行している施設があり、方針では検討されない部分の対応が必要となっている。
- ・限られた市の財源の中、交付金などの特定財源の活用を検討しつつ、危険度に応じた優先順位をつけながら年次計画により改修を進めていく必要がある。

令和 4 年度の予算要求に向けて

- ・「体育施設整備方針」に則って、耐震改修が実施されていない施設の改修工事や老朽化が著しい国体記念体育館の改修工事のほか、照明設備の改修工事等について年次計画を立てて順次進める。
- ・耐震改修が実施されていない施設は八幡体育館、松山体育館及び、親子スポーツ会館等であり、八幡体育館については、機能向上を含む耐震改修を令和 4 年度に行う。その他の施設については、施設のあり方を含め検討を進めていく。
- ・照明設備について、利用者の安全を最優先に屋外の照明設備から年次計画により改修工事を進めていく。また、水銀に関する水俣条約により、一般照明用の高圧水銀ランプの製造中止、輸入禁止の規制を受けることから、屋内施設についても LED 照明への更新を順次

進めていく。

- ・都市公園内の体育施設について、社会資本整備総合交付金の活用を念頭とした酒田市都市公園内体育施設長寿命化計画（仮称）の策定を進めていく。

数値目標

KPI	スポーツ施設の延べ利用者数	指標値（R6）	現状値	現状値（R2）
		764,600人 (R11 770,000人)	H29 758,144人	497,379人

関連事業

No.	事業名	指標			事業費（千円）
		指標名	単位	R元年度	R2年度（決算）
				R2年度	R3年度（予算）
1	体育施設整備事業	年度内事業の完了	—	終了	63,787
				終了	27,307
<p>（事業概要）</p> <p>○体育施設の維持管理に要する大規模修繕を図り、安全で快適なスポーツ環境を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費／光ヶ丘野球場（防球ネット設置工事）、武道館（防水改修工事）、外山キャンプ場（赤松ヒュッテ解体工事） ・備品購入費／光ヶ丘プール（屋外50mプール用レーンロープ）、陸上競技場（ハードル） 国体記念体育館（跳馬テーブル型） 					
2	体育施設管理事業	スポーツ施設の 利用者数	人	685,458 497,379	307,579 318,873
<p>（事業概要）</p> <p>○市内42体育施設の維持管理経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕料 ・燃料費及び光熱水費 ・施設管理委託料 ・指定管理委託料 光ヶ丘プール、松山・平田スキー場、八森自然公園内体育施設（7施設）、飯森山地区体育施設（3施設） ・体育施設備品購入費 陸上競技場（陸上競技備品）、国体記念体育館（体操得点表示板等） 					